



あの手この手を、 きちんと知っておくことの大切さ

3月11日に、災害伝言ダイヤル「171」を使おうとして使えなかった人が多かったようです。これは、サービスが提供されるまでに3時間程度を要したことや利用者がきちんとした知識を持っていなかったことが原因でした。171の登録方法は知っていても、携帯番号や被災地指定されなかった市外局番は入力できなかったり、録音時間がわずか30秒で、2日間経つと伝言が消去されてしまうことまで知っている人は本当に少なかったようです。また、一つの連絡方法が使えなかった時に、別の方法を次々とトライできるよう多種多様な連絡方法（災害用伝言板サービス、災害用ブロードバンド伝言版（web171）、ツイッター、など）をあらかじめ知っておくことが災害時にはとても重要です。





連絡手段



|| 公衆電話 ||

公衆電話は、通常の電話よりもつながりやすく、災害時には無料で使用することが可能。※通話時には10円・100円硬貨が必要です。(通話後に返却)



|| 携帯電話 ||

回線のパンクや、通信規制などで繋がりにくくなる。基地局の倒壊などで使用できなくなる可能性も。通話よりメールのほうが有効。充電切れに備え、充電器等を常備しておく。



|| PC ||

WEBメールや、ツイッター、ミクシイ等のソーシャルメディアが有効。使用するにはネット環境と電源が必要だが、スマートフォンがあれば良。

災害用伝言サービス

	 災害用伝言ダイヤル ● 171をダイヤル	 災害用伝言板サービス ● 各社携帯メニューから	 災害用ブロードバンド伝言板 (web171) ● 『web171』で検索
伝言登録容量	約800万件	約4,000万件	約5億件
登録可能番号	被災地域の市外局番から始まる電話番号に限られる	携帯番号 ※NTTドコモ・auは被災地エリアからのみ登録可能。	全ての電話番号 ※携帯電話やIP電話の番号でも登録可能
保存時間	48時間 ※保存期間を経過した時点で自動消去。	サービス終了時まで保存 ※1電話番号あたり10件を超えたら、古いものから上書き削除。	48時間 ※保存期間を経過した時点で自動消去。
番号の登録件数 / 登録内容	録音時間 1~10件 / 30秒 ※被災規模によって変わります。	テキスト 10件 / 100文字 ※状態・状況を選択し、コメント入力が可能。	テキスト 10件 / 100文字 ※新規登録1件、追加登録9件 ※静止画・音声・動画ファイルも登録可能。
	一度に録音できる時間は 30秒 と短いため、安否の確認、今いる場所、これからどうするかを簡潔に録音する。原稿をあらかじめ作成しておくとうい。	予め登録をしておけば、災害用伝言板登録時に自動的に登録お知らせメールを送ることができます。家族や友人を登録しておきましょう。	家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」を予め決めておくこと。

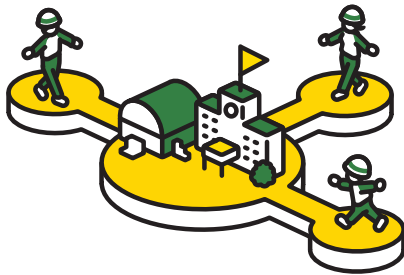


各種災害用伝言サービスは、毎月1日と15日・1月1日~1月3日・防災週間(8月30日~9月5日)・防災とボランティア週間(1月15日~1月21日)に体験利用することができます。



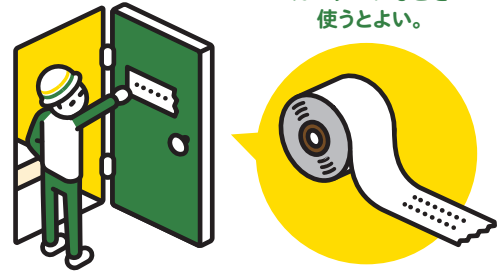
家族で決めておく連絡のルール

◎ 離れ離れになったときの連絡方法



|| 集合同所・避難場所 ||

家族が別々の場所で被災したとき、どこで落ち合うか、どこに避難するかを決めておく。



ガムテープなどを
使うとよい。

|| 伝言メモの残し方 ||

家族に避難先を伝えるメモを残す場所
(玄関の扉の裏側など)を決めておく。



|| 災害用伝言サービス ||

各種災害用伝言サービスの使い方の
確認と登録する電話番号を決めておく。



|| 連絡の中継点となる 遠方の親戚・知人 ||

災害時に連絡の取り次ぎをしてくれる
遠方の親戚・知人の家を決めておく。



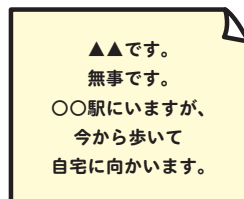
◎ 緊急連絡カードの作成

緊急連絡カードを作成して家族や知人と交換し、
普段から財布の中に入れるなど携帯しておくようにしましょう。



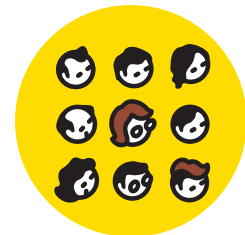
|| 災害用伝言サービスの 登録先番号 ||

約束した災害用伝言サービスの
登録先電話番号を書いておく。



|| 災害用伝言ダイヤルの 録音原稿 ||

登録するときに慌てないよう
あらかじめ原稿を用意しておく。



|| 家族・親戚・友人の連絡先 ||

携帯電話がなくても困らないよう
家族や友人、連絡の取り次ぎを
してくれる人の連絡先を書いておく。